

石岡市議会 第1回議会報告会

報告書



- I. 議会報告会開催までの経緯 P 1
- II. 議会報告会の概要 P 2
- III. 配布資料 P 5
- IV. 質疑応答・意見交換について P 26

石 岡 市 議 会

I. 議会報告会開催までの経緯

平成 25 年6 月 19 日	第 2 回定例会	議会改革特別委員会設置
平成 26 年3 月 20 日	第 1 回定例会	石岡市議会基本条例可決（4 月 1 日施行） ※①石岡市議会基本条例参照
平成 27 年4 月 26 日	石岡市議会議員一般選挙	
平成 27 年7 月 2 日	第 2 回定例会	議会改革特別委員会設置 同日 第 1 回委員会（正副委員長互選）
平成 27 年8 月 18 日	第 2 回委員会	（協議の進め方について）
平成 27 年9 月 16 日	第 3 回委員会	（議会報告会の開催について ほか）
平成 27 年12 月 17 日	第 4 回定例会	議会改革特別委員会の廃止 同日 議会改革推進特別委員会設置 同日 第 1 回委員会（正副委員長互選）
平成 27 年12 月 24 日	第 2 回委員会	
平成 28 年1 月 12 日	第 3 回委員会	
平成 28 年2 月 16 日	第 4 回委員会	
平成 28 年3 月 15 日	第 5 回委員会	
平成 28 年4 月 27 日	第 6 回委員会	
平成 28 年6 月 22 日	第 7 回委員会	
平成 28 年7 月 4 日	第 8 回委員会	
平成 28 年8 月 2 日	第 9 回委員会	
平成 28 年8 月 17 日	第 10 回委員会	
平成 28 年9 月 14 日	第 11 回委員会	
平成 28 年9 月 28 日	議会報告会開催準備会議	
平成 28 年10 月 21 日	議会報告会発表データ取りまとめ	
平成 28 年10 月 27 日	議会報告会開催概要最終確認、配布資料印刷	
平成 28 年10 月 29 日	第 1 回石岡市議会報告会	（ふれあいの里）
平成 28 年11 月 12 日	第 1 回石岡市議会報告会	（八郷総合支所）

※①石岡市議会基本条例抜粋

（情報共有と市民意見の把握）

第 5 条 議会は、市民に対する説明責任を十分に果たすものとする。

2 議会は、原則として、全ての会議を公開するものとし、あらかじめ市民に周知するよう努めるものとする。

3 議会は、市民の多様な意見を把握し、政策立案に反映させるため、次に掲げるものを用いることができる。

(1) 議会報告会及び意見交換会の実施

(2) パブリックコメントの実施

(3) アンケート調査の実施

Ⅱ. 議会報告会の概要

主 催 石岡市議会

開催日	平成28年10月29日(土)	平成28年11月12日(土)
時 間	午後2時～午後3時30分	午前10時～11時50分
場 所	ふれあいの里	八郷総合支所
参加者	21名	19名

議員の出欠状況 (A：ふれあいの里、B：八郷総合支所 ◎：出席 ■：欠席)

議員名	新田茜	大和田寛樹	川井幸一	櫻井茂	石橋保卓	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	大槻勝男	山本進	村上泰道	関口忠男	櫻井信幸	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	塚谷重市	島田久雄	徳増千尋	高野要	鈴木行雄	
A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	■	■	◎
B	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	■	◎	◎	■	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	■	■

内 容

1. 開 会 (岡野孝男副議長)
2. 挨拶 (塚谷重市議長)
3. 議会報告会趣旨 (勝村孝行議会改革推進特別委員長)
4. 委員会報告 (◎は委員長、○は副委員長)
 - ①総務委員会：新庁舎建設事業について
 - ◎菱沼和幸(発表)、○勝村孝行、徳増千尋、塚谷重市、山本進、小松豊正、石橋保卓、櫻井茂(資料作成)
 - ②教育福祉環境委員会：石岡中学校・城南中学校統合再編について
 - ◎谷田川泰(発表)、○池田正文、島田久雄、岡野孝男、櫻井信幸、玉造由美、新田茜(資料作成)
 - ③経済建設消防委員会：消防本部事業について
 - ◎関口忠男(発表)、○村上泰道(資料作成)、鈴木行雄、高野要、大槻勝男、川井幸一、大和田寛樹
5. 意見交換
6. 閉 会 (岡野孝男副議長)

議会報告会の準備、運営については議会改革推進特別委員会が担当

役 割	氏 名
総括及び報告会趣旨説明	勝村孝行(委員長)
総合司会	石橋保卓(副委員長)
記録、撮影	菱沼和幸、櫻井茂
質疑応答	村上泰道、新田茜

開会のあいさつ（塚谷重市議長）

初めての議会報告会開催に際しまして、皆様方に御参加をいただきましたこと、議会を代表いたしまして心から厚く御礼を申し上げます。

さて、平成26年3月に議員提案により石岡市議会基本条例を制定し、議会のありよう、議員としての行動規範を示したところでございます。

そして議会基本条例 第3章に「市民と議会との関係」において、第5条「議会は、市民の多様な意見を把握し、政策立案に反映させるため、議会報告会及び意見交換会の実施」を行うことを規定したところでございます。

昨年の市議会議員選挙後、新たな議会におきまして、議会改革特別委員会を設置、その後、議会改革推進特別委員会として、議会報告会開催に向けて活発な議論を重ねてまいりました。そして、議会報告会の開催内容がまとまり、本日を迎えるところとなりました。

ともすれば、市民の皆様から、議会はわかりづらいもの、何をしているのかわからないといった意見もあるところから、市民と議会の距離を縮め、市民の皆様の意見をより議会に反映させることを目的に多くの市議会で、議会報告会が開催されるようになってまいりました。石岡市議会としましても、これらの議会改革の流れに乗り遅れることがないように取り組んできたところでございます。

本日の報告会は、石岡市議会としても初めての試みでございますので、果たして皆様に満足いただける報告会となるかわかりませんが、市民の代表である市議会議員として、皆様と一緒に石岡市議会をつくっていく手段として、大きな役割を果たすのではないかと期待をしているところでございます。

皆様からの忌憚のないご意見ご要望をお伺いしまして、議会の役割と責任を果たせるよう議員一同、新たな議会に向けてのスタートにしたいと考えております。

本日は皆様と有意義な時間を過ごしたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

議会報告会趣旨説明（勝村孝行委員長）

本日は皆様方には議会報告会にご参加いただき誠にありがとうございます。議会報告会の趣旨説明でございますが、先ほど議長からもお話があったように、議会報告会は初めての報告会でございます。議会報告会の趣旨といたしましては、一昨年4月に施行されました石岡市議会基本条例に基づき、開かれた議会を目指して、市民との情報を共有し、市民の皆様のご意見を私共の議会活動に反映させることを目的といたしております。

当委員会では、この議会報告会開催に向けて集中的に活発な議論を重ねてまいりました。そして今回このような運びになったわけございまして、皆様にご案内させていただきました。本日はご案内のように最初に、各常任委

員会から報告をさせていただきます、その後、皆様と意見交換会をいたしたいと考えております。

冒頭申し上げましたように、初めての議会報告会ということでございます。何かと不行き届きの点多々あろうかと思いますが、あらかじめお許しをいただきまして、よろしくお願いを申し上げたいと思います。それでは短い時間ではありますけども、本日はよろしくお願いをいたします。

閉会のあいさつ（岡野孝男副議長）

第1回目ということで、議員側も非常に緊張しております、いろいろご意見をいただきまして執行部の方に要望するものは要望していきたいと思っております。なかなか日ごろは、議会と市民の皆さん方とこうした機会を設けることは、個別的な話はできますけども、議会全体ということになるとなかなかできない、今日は貴重な意見交換会、報告会であったのではないかと思います。これを第1歩としまして、市民の皆さんと議会が色々な機会話し合いを持てるように努力をしてまいりたいと思います。本日はありがとうございました。

石岡市議会

第1回

議会報告会



市公認キャラクター
満喫うさぎ カイ



石岡市議会本会議場



市公認キャラクター
嗜みうさぎ モモア

【石岡地区】

10月29日（土）
午後2時～午後3時30分

ふれあいの里石岡
ひまわりの館ふれあいホール
石岡市大砂 10527-6

【八郷地区】

11月12日（土）
午前10時～午前11時30分

八郷総合支所 1階会議室
石岡市柿岡 5680-1

お問合せ先 石岡市議会事務局 石岡市柿岡5680-1
TEL 0299-43-1111(代表)
Eメール gikai@city.ishioka.lg.jp

議 会 構 成

役 職 名	氏 名
議 長	塚 谷 重 市
副 議 長	岡 野 孝 男

委 員 会 名		委 員
常 任 委 員 会	総 務	◎ 菱 沼 和 幸 ○ 勝 村 孝 行 徳 増 千 尋 塚 谷 重 市 山 本 進 小 松 豊 正 石 橋 保 卓 櫻 井 茂
	教育福祉環境	◎ 谷田川 泰 ○ 池 田 正 文 島 田 久 雄 岡 野 孝 男 櫻 井 信 幸 玉 造 由 美 新 田 茜
	経済建設消防	◎ 関 口 忠 男 ○ 村 上 泰 道 鈴 木 行 雄 高 野 要 大 槻 勝 男 川 井 幸 一 大和田 寛 樹
議会改革推進 特別委員会		◎ 勝 村 孝 行 ○ 石 橋 保 卓 菱 沼 和 幸 村 上 泰 道 櫻 井 茂 新 田 茜
議会運営委員会		◎ 池 田 正 文 ○ 関 口 忠 男 徳 増 千 尋 谷田川 泰 勝 村 孝 行 石 橋 保 卓

◎印：委員長 ○印：副委員長

石岡市議会

議会報告会式次第

一、開会

一、挨拶

一、報告会趣旨説明

一、総務委員会 報告・質疑応答

一、教育福祉環境委員会 報告・質疑応答

一、経済建設消防委員会 報告・質疑応答

一、意見交換

一、閉会

石岡市議会 総務委員会

市長公室，総務部，財務部，会計課及び八郷総合支所の所管に属する事項並びに他の所管に属さない事項を審査

- 委員長 菱沼和幸
- 副委員長 勝村孝行
- 委員 徳増千尋
- 委員 塚谷重市
- 委員 山本 進
- 委員 小松豊正
- 委員 石橋保卓
- 委員 櫻井 茂

新庁舎建設事業

建設事業までの経過

平成23年3月11日

東日本大震災で本庁舎（S49建設）が被災

平成25年4月から

震災復興特別交付税及び被災施設復旧関連



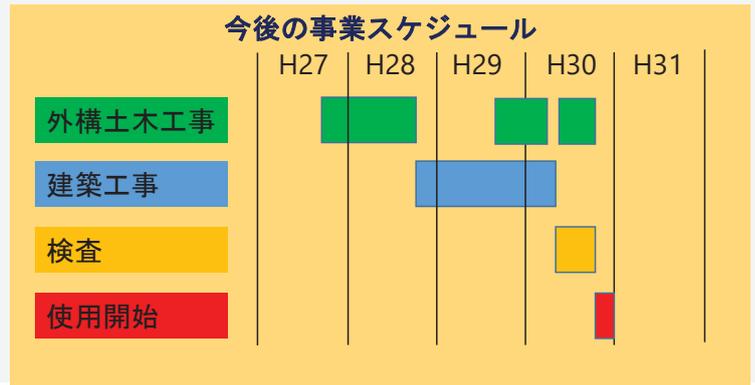
事業債を受ける根拠調査を実施したところ3階
議会フロアが中破判定。

本庁舎の使用を止め仮設庁舎へ事務移転

新庁舎建設事業

事業スケジュール

- 平成27年1月 本庁舎解体工事 ～ 平成28年4月
- 平成27年3月 プロポーザル方式で基本設計・実施設計業者を選定。
日本有数の設計業者 久米設計と契約
- 平成28年8月 新庁舎建設契約の入札 落札業者なしにより設計変更中



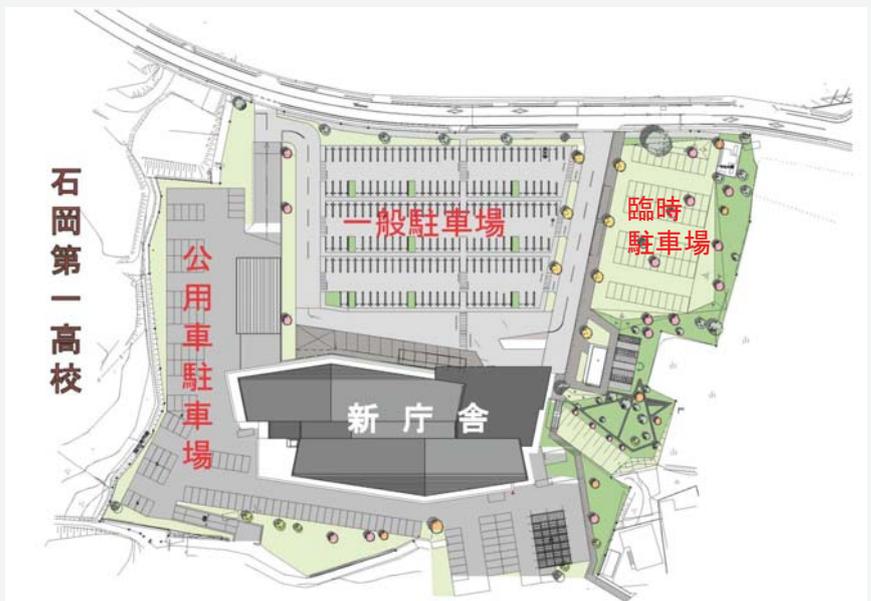
新庁舎建設事業

本庁舎敷地レイアウト

建設地 石岡市石岡一丁目1番地外

敷地面積 約22,860㎡

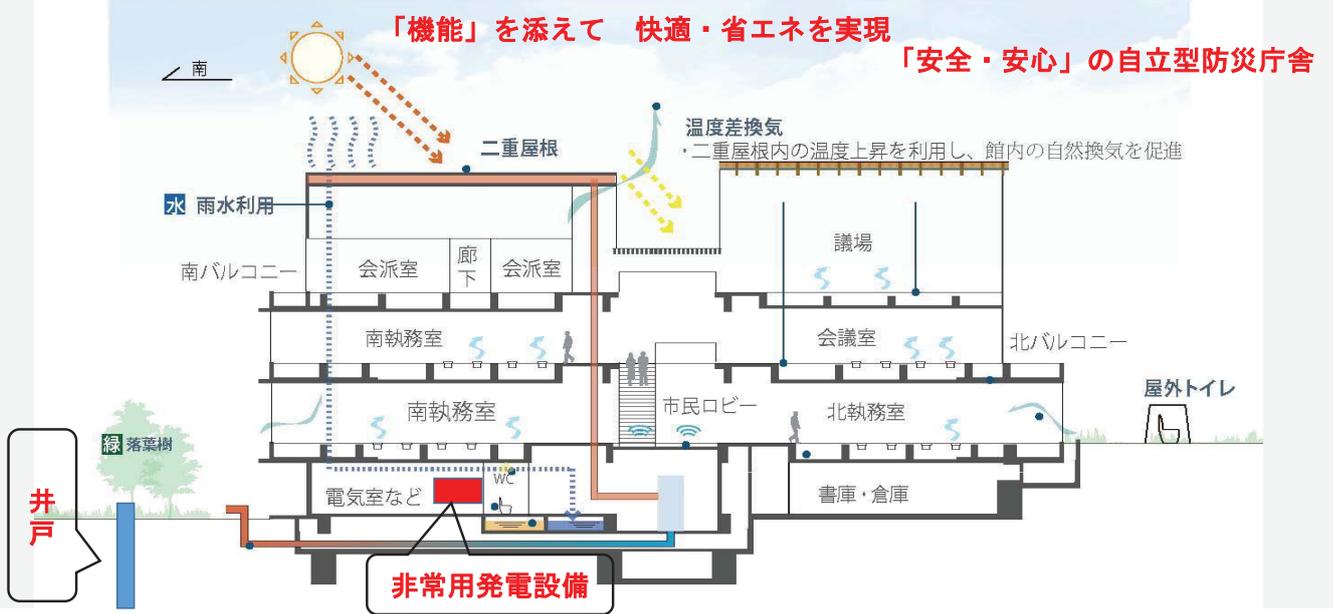
駐車場
一般車145台
臨時 61台
優先者 5台（屋根付）
おもいやり6台



新庁舎建設事業

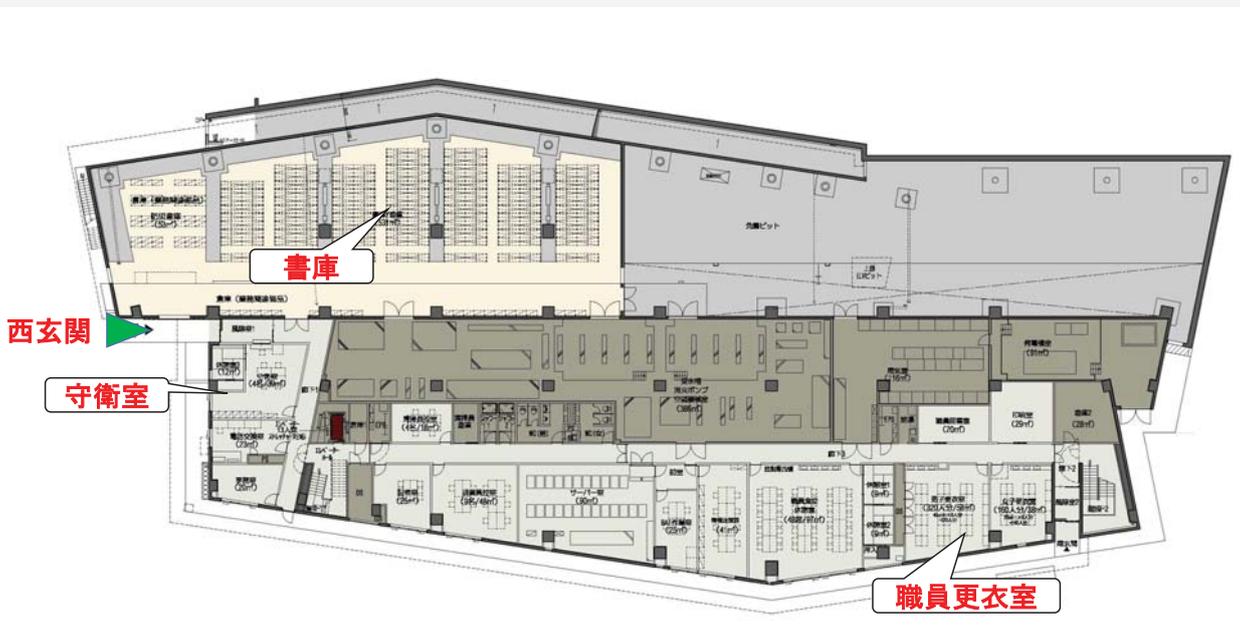
新庁舎側面図

自然の恵みを活かす環境配慮計画



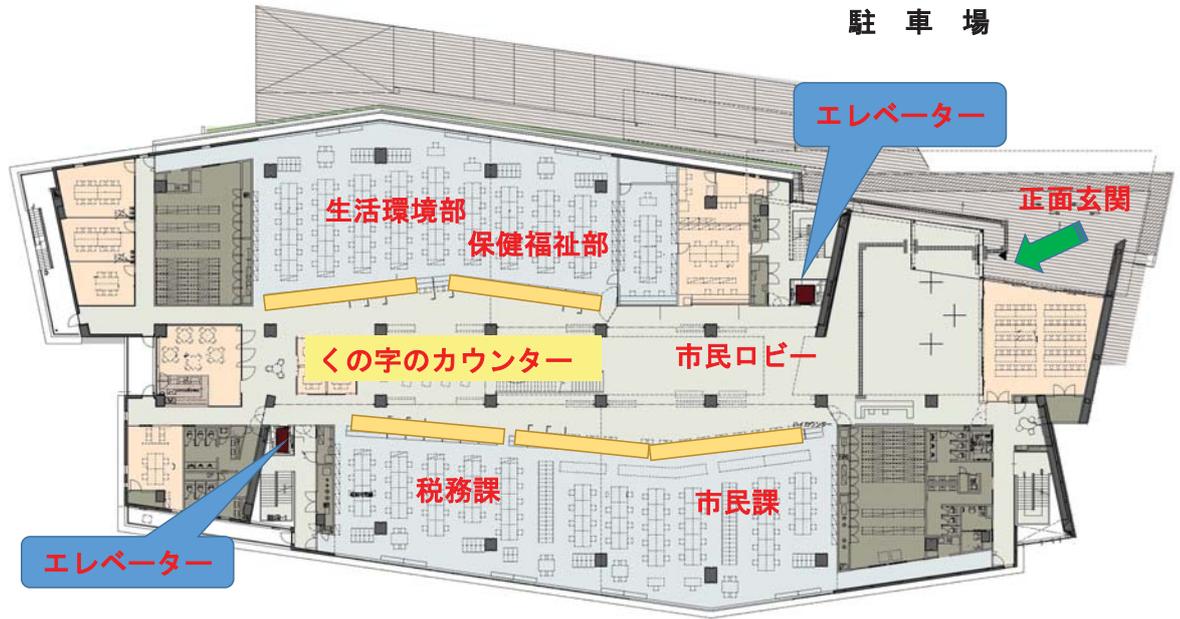
新庁舎建設事業

新庁舎1階レイアウト



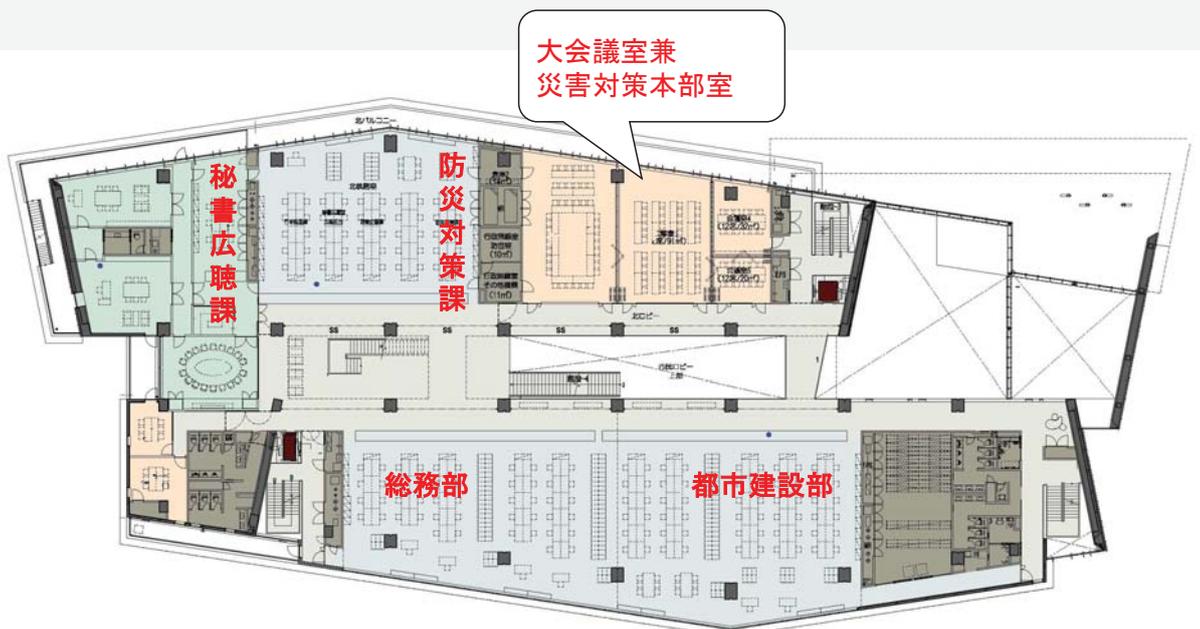
新庁舎建設事業

新庁舎 2階レイアウト（玄関ロビー階）



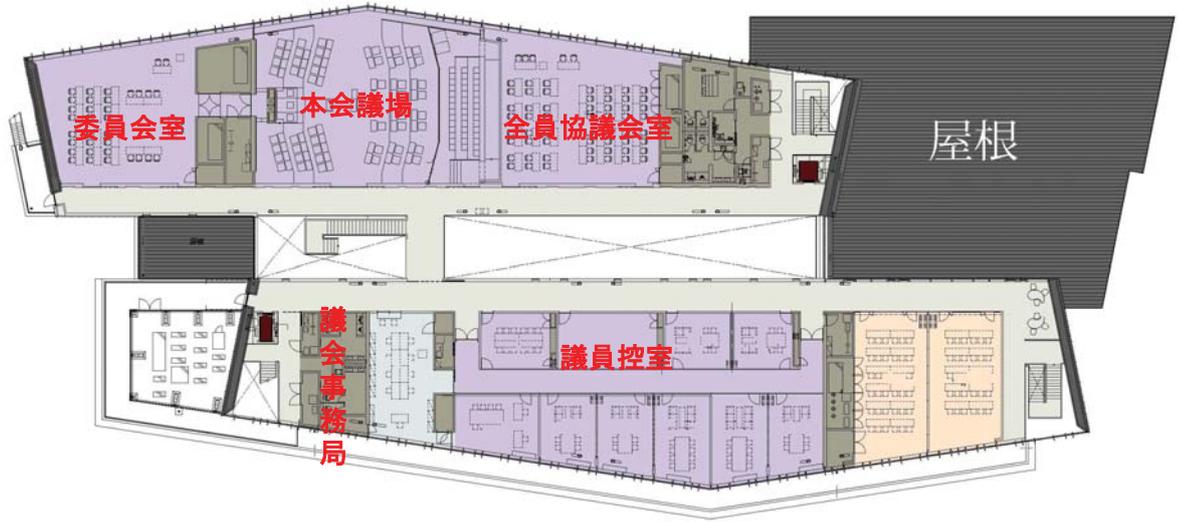
新庁舎建設事業

新庁舎 3階レイアウト



新庁舎建設事業

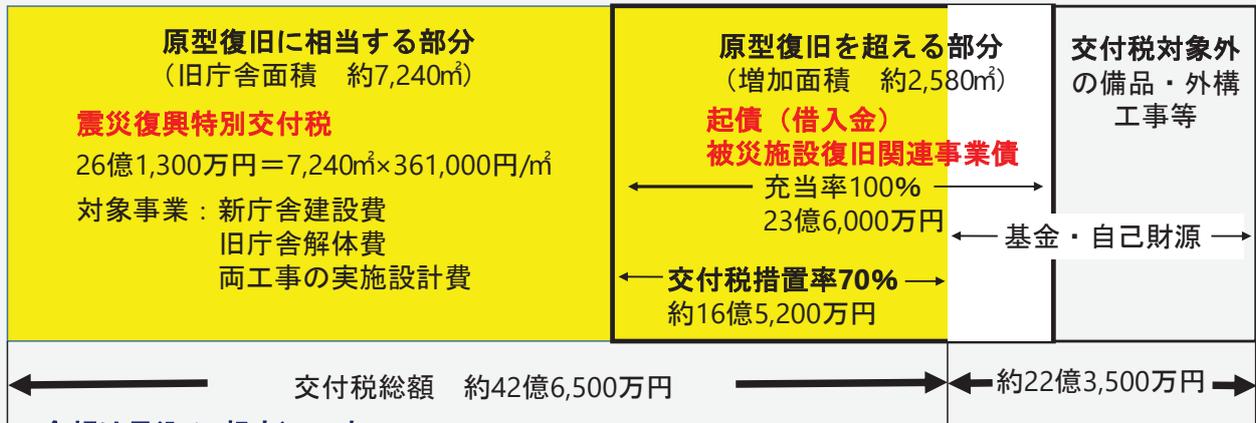
新庁舎 4階レイアウト（議会フロア）



新庁舎建設事業

被災した庁舎等の建替えに対する財政措置

新庁舎建設 総事業費 約65億円



金額は見込み(想定)です。
特に起債については、対象・対象外の選定や、庁舎建設工事の入札金額の変動も予想されます。
このため、実際に借り入れる際には想定金額を下回ることが予想されます。
あくまでも財源内訳のイメージとしてとらえてください。

石岡市議会 教育福祉環境委員会

＜石岡中学校・城南中学校統合再編について＞

委員長 谷田川 泰

副委員長 池田 正文

島田 久雄

岡野 孝男

櫻井 信幸

玉造 由美

新田 茜



石岡市の小・中学校適正配置について

全国的な少子化の進行に伴い、石岡市においても児童生徒数は年々減少し、小学校の複式学級、中学校の単学級が増加し、小規模化が進んでいます。

児童生徒の社会性の育成、互いに切磋琢磨する場として一定規模が必要との考えから、平成21年3月に策定した「小中学校の適正規模・適正配置についての答申書」に基づき小中学校の統合再編を進めています。

小中学校の適正規模・適正配置について（答申）

小中学校の適正規模

（抜粋）

小学校 1 学年 2 学級から 3 学級

（全体で 1 2 学級から 1 8 学級）

中学校 1 学年 4 学級から 6 学級

（全体で 1 2 学級から 1 8 学級）

小中学校の適正配置

小学校 1 0 校（石岡地区 6 校・八郷地区 4 校）

中学校 4 校（石岡地区 2 校・八郷地区 2 校）

小中学校の適正規模・適正配置について（答申）

小学校の適正配置

学校名	小学校								
	平成20年度			平成26年度			適正配置(案)		
	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数
高浜小学校	112	6	7	110	6	7	244	9	11
三村小学校	101	6	7	91	6	7	244	9	11
関川小学校	61	6	7	43	5	5	244	9	11
府中小学校	517	16	22	515	17	23	616	18	23
北小学校	92	6	7	101	6	7	616	18	23
園部小学校	234	8	10	199	7	9	338	12	13
東成井小学校	139	6	8	139	6	7	338	12	13
瓦会小学校	109	6	7	96	6	7	189	7	8
恋瀬小学校	109	6	7	93	6	7	189	7	8
林小学校	182	6	7	171	6	7	471	14	16
葦穂小学校	83	6	7	76	6	7	471	14	16
吉生小学校	75	6	7	59	5	5	471	14	16
柿岡小学校	280	11	13	165	6	8	471	14	16
小幡小学校	143	6	7	108	6	7	209	7	9
小桜小学校	120	6	7	101	6	7	209	7	9
石岡小学校	404	12	16	297	12	14	297	12	14
東小学校	650	19	25	675	19	25	675	19	25
南小学校	512	17	20	385	12	14	385	12	14
杉並小学校	523	17	20	437	13	15	437	13	15

※教員数は、校長、教頭、特別支援学級担当、養護教諭、事務職員は除く

中学校の適正配置

(抜粋)

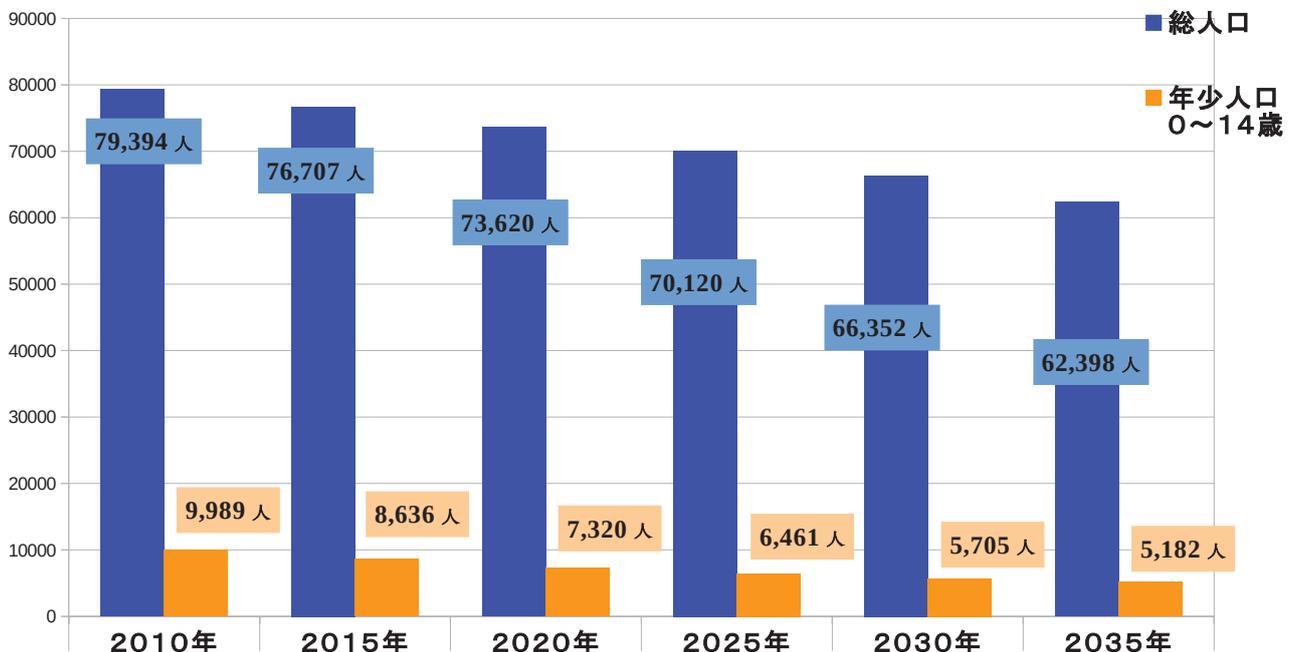
学校名	小学校								
	平成20年度			平成26年度			適正配置(案)		
	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数
石岡中学校	522	15	28	471	13	24	593	16	28
城南中学校	188	6	12	122	4	9	593	16	28
府中学校	515	14	26	497	14	26	633	17	29
国府中学校	227	7	14	136	6	12	633	17	29
有明中学校	168	5	10	73	3	9	373	10	18
柿岡中学校	334	10	18	210	6	12	373	10	18
八郷南中学校	148	6	10	90	3	9	373	10	18
園部中学校	216	6	13	156	6	12	156	6	12

※園部中学校は、他の3校に比べ生徒数及び学級数が少ないことから将来的には適正配置の対象校とする。

※教員数は、校長、教頭、特別支援学級担当、養護教諭、事務職員は除く

石岡市の小中学生人口推移

今後、20年総人口は 約14,000人減少し、
年少人口（0～14歳）は 約3,400人減少すると予想されています。



統合再編した場合のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
教育効果	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級の解消 ・多様な考えに触れる ・コミュニケーション能力の向上 ・学習課題解決への思考の広がり ・教科に応じた必要な教職員の確保 ・同一学年複数教員の配置 ・集団学習、集団行事の適切化 	<ul style="list-style-type: none"> ・補充指導、個別指導の減少
児童生徒の人間関係及び学習環境	<ul style="list-style-type: none"> ・友人関係の広がり ・切磋琢磨ができる環境 ・クラス替えによる人間関係の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年の活動減少
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員事務分掌の適切な配分 ・安全確保や不測の事態における適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学区拡大による、地域活動との調整がしづらい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・男女比の偏りの減少 ・教育バスを利用することにより通学の安全の向上 ・PTAや学校後援会等の活性化 ・部活動等の選択肢の増 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育バス利用の経済負担 ・学区拡大による通学時間の増 ・長距離の徒歩、自転車通学の安全性に課題

石岡中学校・城南中学校の統合再編について

石岡中学校は答申において適正規模のため単独校と判断されましたが、城南中学校は生徒数の減少が見込まれる小規模校のため統合再編の対象校と判断されました。

現在の規模(H 2 8 . 5 . 1 現在)

	生徒数	普通学級数 (学年ごとのクラス数)	職員数
石岡中学校	541人	15クラス (1年:5 2年:5 3年:5)	35人
城南中学校	120人	5クラス (1年:1 2年:2 3年:2)	14人

統合後の規模 (見込み)

統合の時期	平成30年4月		
生徒数	688人	普通学級	19クラス
教諭、講師数	42人		

石岡中・城南中統合再編に向けたこれまでの経緯

(1) 説明会等開催状況

- ・ P T A 役員との意見交換会 平成 2 6 年 3 月から 1 1 回開催
- ・ 保護者説明会 平成 2 6 年 3 月から 1 1 回開催
- ・ 地区区長との意見交換会 平成 2 6 年 3 月から 1 1 回開催
- ・ 住民説明会 平成 2 6 年 3 月から 1 1 回開催
- ・ 議会等への報告
 常任委員会 8 回
 (H 2 6 年 : 2 回 H 2 7 年 : 3 回 H 2 8 年 : 3 回)
- 教育委員会 9 回
 (H 2 6 年 : 2 回 H 2 7 年 : 3 回 H 2 8 年 : 4 回)

石岡中学校・城南中学校の統合について

(2) 統合検討委員会及び専門部会の開催状況

統合検討委員会開催経過

委員数 27名 (構成メンバー 学校 P T A 役員、 関係区長、 学校長)

H27.12.25 (第1回)

協議内容 石岡中学校・城南中学校の統合及び統合の時期について

H28. 1.19 (第2回)

協議内容 石岡中学校・城南中学校の統合及び統合の時期について

H28. 1.29 (第3回)

協議内容 石岡中学校・城南中学校の統合及び統合の時期について

H28. 5.17 (第4回)

協議内容 専門部会の設置及び検討項目について

H28. 8.24 (第5回)

協議内容 専門部会での検討項目調整結果について

専門部会

総務・庶務部会

検討項目 学校等改修
生徒服装 等

開催経過 H28.5.30 (第1回)

開催経過 H28.7.21 (第2回)

学校行事・交流事業・PTA部会

検討項目 学校行事、部活動
PTA組織 等

開催経過 H28.6.22 (第1回)

通学・地域連携部会

検討項目 教育バスの運行、通学路
跡地利用 等

開催経過 H28.6.28 (第1回)

開催経過 H28.8.5 (第2回)

石岡中学校・城南中学校の統合について

(3) 統合検討委員会での決定事項

項目	内容
場所・校名・校章・校歌	●石岡中学校
学校施設の等の改修 (教育環境の整備)	●バス駐車スペースの新設・駐輪場の増設・駐車場の増設 ●トイレ(普通教室等)の全面改修、配管・排水設備の改修 ●給食受入室の拡張 ●生徒用ロッカーの入換え
体操服・制服・カバン等 ※	●石岡中学校仕様 ●上履きは継続使用
教育目標・目指す生徒像・校訓	●両校の校長を中心に協議し、立案作成
記念誌・卒業記念・歴史 伝統保存・備品・消耗品	●両校で協議 ●式典の事業は、学校で検討 ●記念碑等は城南中学校にて保存 ●歴代校長、PTA会長、学校沿革等の取扱は、石岡中学校にて保存 ●備品等は、学校事務職員が作成(作業進行中)
自転車・ヘルメット	●現在使用しているものを継続使用

※要望事項 城南中学校の生徒84名分(H30年度の2、3年生)の体操服・制服(女子上着)及びカバンについては、市からの支給を要望する。

石岡中学校・城南中学校の統合について

項目	内容
交流事業(心のケア)	●統合前の交流(行事等)は、平成28年度から両校の教務主任等を交え調整協議し実施
部活動・生徒会活動	●石岡中学校の部活動・生徒会活動を継続 ●統合前の交流は、両校で調整協議し実行
PTA組織・学校後援会	●両校PTA間で協議し、ほぼ完成 ●条文等については、両校のPTA本部役員及び担当者が案を作成
教育バスの運行	●教育バスの運行は、城南中学校区 ●マイクロバス4台、4ルート案を報告、確認 *バスルートの設定については、①安全な乗降と効率性、②バス運行の安全性の確保、③地域の主要道路・県道を中心に、将来を見据えたものとする。
通学路 ※	●バスルート及び自転車通学の安全確保 ●自転車置き場は原則公共的な施設の敷地内
引越し	●備品や消耗品の確認(平成30年3月に完了)

※要望事項 通学路(自転車の通学を含む)、バス停周辺の確認や街路灯、防犯灯の設置について。

八郷中学校の統合について

八郷中学校は答申において、各中学校の統合再編優先度が高いと判断され、平成22年より統合の準備が進められました。

・開校時期 平成25年4月

・統合前学校の規模 (H24.5.1現在)

	生徒数	普通学級数
柿岡中学校	320人	10クラス
有明中学校	75人	3クラス
八郷南中学校	125人	5クラス



・現在の規模 (H28 学校基本調査 より)

生徒数	516人
普通学級数	15クラス
教諭・講師数	30人

< 統合後の成果・課題 >

(1) 成果

- ・生徒同士の人間関係も広がり、学力の向上や部活動の上位大会出場等成績が上がってる。
- ・施設、設備及び備品が充実し、学習環境が向上した。

(2) 課題

- ・学区内の小学校が多く、事前に連携を取る必要がある。
- ・県道の歩道整備など通学路の整備が遅れているところがある。
- ・教育バスの運行に伴い、部活動を含め学校生活に合わせた時間調整等が必要。

今後の統合再編について

- ・小中学校の適正規模・適正配置等についての答申書の内容が、平成30年度までを目安としているものの、社会情勢が変化していることから答申書の見直しを視野に入れ今後も進めていきます。
- ・答申に基づく統合再編は全体の1割程度しか進んでいないが、学校が防災や地域のコミュニティ、シンボリックな役割を担っていることから、統合再編を進めるにあたっては地域の方々の理解と協力を得ながらスピード感を持って進めていきます。
- ・小学校の複式学級や中学校の単学級が年々増加しています。適正規模になる事が見込めない場合があっても、複式学級の回避生活集団確保の面からも特色ある学校の統合再編をしていきます。

経済建設消防委員会



委員長	関口忠男		
副委員長	村上泰道		
委員	鈴木行雄	高野要	大槻勝男
	川井幸一	大和田寛樹	

消防本部事業について

- ・ 消防災害対応体制
- ・ いばらき消防指令センター
- ・ 住宅用火災警報器設置

消防災害対応体制について

風水害対策

- 警報発令 . . . 警戒体制
- 土砂災害警戒情報発令 . . . 非常体制
(第2次配備)

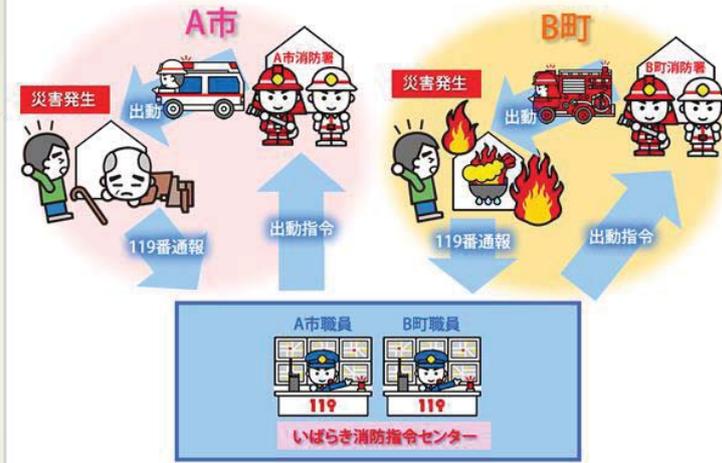
震災対応

- 震度 4 . . . 警戒体制
- 震度 5 弱 . . . 非常体制 (第1次配備)
- 震度 5 強 . . . 非常体制 (第2次配備)

いばらき消防指令センターについて



いばらき消防指令センターの消防指令業務



茨城県内20消防本部の119番通報の受信や出動指令などの司令管制と21消防本部の消防車や救急車の無線管制などの通信指令業務の運用を共同で行う司令管制センター。

「火事だあー！はやくにげろー！」

「もしものために・・・」
住宅用火災警報器を



「住宅用火災警報器」って必要なの？

住宅火災による死者の多くは、「逃げ遅れ」が原因です。
また、高齢者の死者が増加する傾向であり、火災の発生をいち早く知らせくれる住宅用火災警報器の設置が、石岡市火災予防条例によって義務づけられています。

「住宅用火災警報器」ってどういうもの？

火災により発生する煙又は熱を自動的に感知し、警報ブザーや音声により、火災発生を知らせる器具です。

煙式



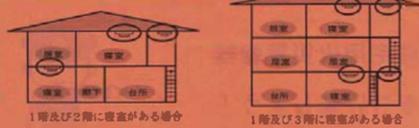
熱式



住宅のどこに取り付けばいいの？

煙式感知器を居室に取り付けます。
※数階に使用する子供部屋も含まれますが、接客時のみ使用しような部屋は除かれます。
居室が2階以上にある場合は階段上段の天井、又は壁に熱式感知器を設置します。
右所の設置箇所はありませんが、右所に設置する場合は熱式感知器を設置します。

《具体的な例》 ☞ は住宅用火災警報器



どこで買えるの？

ホームセンターなどで購入ができます。
また、電気店やガス取扱店などで販売している場所もあります。

住宅用火災警報器を選ぶポイントは？

感度や警報音量などの一定基準に合格した製品には、「NSマーク」が付いていますので確認して購入して下さい。



電池切れに注意！！住宅用火災警報器の交換時期に注意しましょう。

定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認を行いましょう。
住宅用火災警報器は電池が切れると作動しなくなります。
(住宅用火災警報器本体はおおむね10年を目安に交換して下さい。)
※購入年月日を記入しておくと便利です。

定期的にお手入れをしましょう。

住宅用火災警報器はホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。
定期的にお手入れを行いましょう。
お手入れの方法は機種によって異なりますので、取扱説明書をご確認ください。

重要な訪問販売にご注意！

消防関係者を名乗り、住宅用火災警報器、消火器、防災用具などを不適正な価格での販売、無理強い販売を行う業者があります。十分注意していただき、不審に思った場合は消防本部予防課に相談して下さい。

このチラシについてのお問合せ先は

石岡市消防本部 予防課 電話番号(代表)0299-23-0119
石岡市石岡一丁目2番地18
石岡市消防本部ホームページ【<http://fd.city.shiroka.lg.jp/>】

住宅用火災警報器
をつけましょう！



住宅用火災警報器設置率（平成24年から平成28年までの総務省調査結果）

平成28年6月1日現在

設置率	24年 設置率	25年 設置率	26年		27年		28年	
			設置率	条例 適合率	設置率	条例 適合率	設置率	条例 適合率
平均								
全国	77.5%	79.8%	79.6%	66.9%	81.0%	67.0%	81.2%	66.5%
茨城県	59.8%	64.3%	69.6%	61.5%	72.0%	60.0%	74.6%	61.7%
石岡市	55.5%	60.0%	64.0%	60.0%	69.0%	62.0%	70.1%	63.4%
設置率順位 () 調査都道府県市数								
茨城県	47(47)	47(47)	39(47)	36(47)	41(47)	39(47)	38(47)	35(47)
石岡市	21(26)	18(25)	20(25)	14(25)	18(24)	12(24)	16(24)	9(24)

- ※ 石岡市 26年と比較すると27年は、+5ポイントアップ
- ※ 茨城県 +2.4ポイントアップ
- ※ 全国 +1.4ポイントアップ

IV. 質疑応答・意見交換について

1. 常任委員会発表時の質疑

◆総務委員会

10月29日	質問	なし
	回答	なし
11月12日	質問	新庁舎建設の入札について
	回答	2社の企業が手を挙げていたが、入札の前日に2社ともに入札を取り下げた
	質問	庁舎の解体工事について
	回答	昭和49年に庁舎が建設された時も雨水、湧水があったが、水の対策を精査する方向で進んでいる
	質問	新庁舎に議場を設けることについて
	回答	合併協議会の中で本庁方式ということが決まっており、縮小できないかという話は、議論に議論を重ねた結果である

◆教育福祉環境委員会

10月29日	質問	統廃合で廃校になった有明中学校の活用・扱い方について
	回答	有明中学校に関しては、まだまだ問題があるという気がしており、執行部に対して提言していく
	質問	統合により廃校になった学校の表示について
	回答	親切な表示も心掛けていきたい
11月12日	質問	補充指導と個別指導の減少が統廃合のデメリットになっていることについて
	回答	生徒数が少なく、生徒と話し合いの場、一緒に考える時間的な余裕があったが、細かく行き届いた部分が、多少減ってくるので挙げた
	質問	適正規模適正配置についての答申書の見直しについて
	回答	新たな答申が出れば、皆さんからのご意見に沿って見直す可能性もある
	質問	統合になる前の通学環境の整備について
	回答	対処しなければいけない案件を一つひとつつぶさに見ながら、改善を進めているのが現状である

◆経済建設消防委員会

10月29日	質問	ハザードマップについて
	回答	水害のハザードマップは全戸に配布されており、ほかに傾斜地ハザードマップもあり、市役所で貰うことができる

2. 意見交換における発言・質問

10月29日	意見	小学生とか中学生の議会を開いていただきたい
	回答	子供達の議会は、対応していきたい

10月29日	質問	広域連携で図書館と運動施設が使えるようになり、すごく嬉しいが、これからもプラスアルファはあるのか
	回答	今後ますます近隣自治体の連携を図って、公共施設を有効利用していくことになる
	意見	行方市は独自にテレビ局を運営しているが、行方市と小美玉と石岡が連携できないか
	回答	テレビの件は執行部に伝える

10月29日	意見	議会の傍聴に何度か行ったが、怒鳴り威嚇する人がおり、ダメならダメで警察に待機してもらうなど、きちんと議会に対応していただきたい
	回答	我々も真摯に反省をしながら対応していく

10月29日	意見	市議会のテレビ中継は市役所も情報センターも全然ダメなので、いい知恵を出していただきたい
	回答	意見については要望として対応していきたい

11月12日	質問	3.11の地震の時に210世帯ある狭い地区に、給水車が来てくれなかったが、市の給水体制はどのようになっているのか
	回答	未曾有の状況になり混乱したが、その後、地域防災計画を策定し、BCPや事業継続計画で給水エリアを記載している

11 月 12 日	意見	湖北環境衛生組合議会を傍聴したが、ある議員が怒鳴り、議長の静止も聞かないので、是正してほしい
	回答	広域、一部事務組合議会での出来事は、構成自治体との兼ね合いもあり、ご意見は、議員一人ひとり受け止めさせていただき、今後対応させていただきたい

11 月 12 日	意見	議員を非難する変な文書が市民に投げこまれているが、市民として非常に恥ずかしく、議員間で何とかならないのか
	回答	いただいたご意見は、議員一人一人が真摯に受け止め、今後適正な方向で対応を図りたい

11 月 12 日	意見	国衙を復活させて石岡の誇れるものにできないか
	回答	国衙等、重要文化財もあるが、観光ルートを確立して、多くの皆さんに石岡市に来てもらえることが懸案である

11 月 12 日	意見	若いアイデアを出して石岡市を盛り上げていければと考え、高校生から提案させていただきたい
	回答	若い方を中心とした石岡づくりというものも考えて行きたい

11 月 12 日	質問	公園を明るく生き生きと使う計画や考えはないのか
	回答	石岡市で維持管理している公園数は39あり、利用の仕方は執行部と協議をしながら、利便性を考え、どういった公園として使われるべきか検討していきたい